

## インターネットでの注文が便利に!

# インターネット注文サイト GCweb がリニューアル

2014年、より親しみやすく便利なグリーンコープを知ってもらい、組合員を増やすために、テレビCMをはじめとするふくおかでの広告展開や、カタログ、ホームページのリニューアルなど、さまざまな取り組みをしています。その一環として、GCwebがリニューアル。カタログGREEN 1号から、インターネットでの注文がより便利になりました。

### 見やすく♪楽しく♪ 簡単注文!

バナーは大きく見やすく。どこにあるか一目で分かるようになりました。商品カテゴリー一覧、webカタログ、申込番号入力から、注文方法が選べます。

今週のお買得品を案内

カタログの食材で作る  
おすすめレシピを紹介

webでしか注文できない  
お得な限定企画も

お酒も注文できるように

#### 登録はホームページから

GCwebの利用は登録が必要です。グリーンコープのホームページからアクセスできます。登録後すぐに利用できるようになりました。

### 4月8~10日、新CM放映!

福岡県地方でグリーンコープのチラシが4月9日新聞折込されることに合わせ、チラシの内容と連動したテレビCM「ケチャップ大評判」篇を放映します。

福岡県以外の地域の方も、ホームページで見ることができます。



今回も、ココロちゃんの元気な笑顔  
がはじけます。  
お見逃しなく！

### ミニ番組も好評放映中！

毎週水曜夜9時54分からのテレビ西日本「おいしさと、いのちと。GreenStory」も好評放映中。グリーンコープの社会的な活動や代表的な商品などを紹介し、グリーンコープの想いを伝えています。4月は「東日本大震災三年後集会」や「水産高校生がとったマグロ」などを取り上げます。お楽しみに。

4月から毎週金曜、テレビ西日本の情報番組「ももち浜ストア」（平日9時50分～）でも、番組内のコーナーを提供。産地やメーカーを訪問し、安心・安全、おいしさをアピールします。

スマートフォンでも  
サクサク注文！

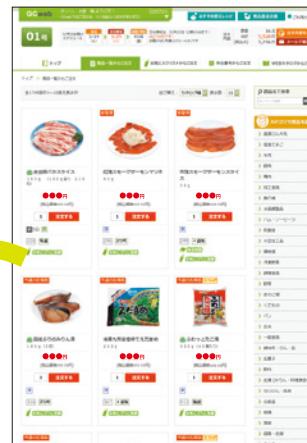
GCweb の特徴：

- 現在の注文状況などが分かります
- 商品一覧やお気に入り登録リストから注文できます
- カタログと連動し、季節や企画に合わせたおすすめ商品を紹介します
- 商品の検索ができます
- 商品を生産・製造する人の思いや、その商品の背景など、読んで楽しい「商品物語」のコーナーもあります
- カテゴリごとの商品一覧から注文できます
- 商品一覧画面

画像付きで商品を見ることができるようになり、webでの注文が簡単になりました。

#### 詳細情報画面へ

商品をクリックすると、原材料やアレルギー情報などの詳細情報を見ることができます。



### スマートフォンでの注文が便利に！ 4月2日 サービス開始

GCwebのスマートフォン専用サイトもオープンします。



商品画像つきの商品一覧を表示。カタログが手元になくても、いつでもどこでも注文できます。



画像はすべてイメージです

# 共生の時代

みどりの地球を  
みどりのままで

2014 4月

■発行：グリーンコープ共同体理事会  
■編集：共生の時代・編集部  
■〒812-8561  
福岡市博多区博多駅前一丁目5番1号  
ヒューリック博多ビル3階  
TEL 092(481)7923  
FAX 092(481)7876  
<http://www.greencoop.or.jp/>

## Contents

生活再生相談事業が  
全国のモデルに 2

くまもと発  
キープ&ショップ人吉 3

東日本大震災三年後集会 4・5

Chernobyl原発事故の  
被災国ベラルーシ共和国の  
医師による来日報告会 6

グリーンコープの輪・和・環  
グリーンコープ生協おおさか  
近藤 真理子さん 7

別紙にて、「放射能汚染と向きあう  
(放射能測定室より)」を掲載

### チェック！

神在太陽光発電所の発電（発電量）状況をホームページで公開しています。トップページ「市民の手による自然エネルギー発電所づくり」バナーをクリック！  
本誌8面でも掲載します。



2013年12月に開催された、関東(東京)地区 生活困窮者自立支援検討会のようす。左端がグリーンコープ連合・共同体常務理事・生活再生事業推進室室長の行岡みち子さん。右端がNPO法人北九州ホームレス支援機構理事長・社会福祉法人グリーンコープ副理事長の奥田知志さん

**「生活困窮者自立支援制度」とは**

2013年12月に生活困窮者自立支援法が成立したことを受け、2015年4月から全国の自治体で施行される制度。具体的な支援策として、必須事業の「自立支援事業」「一時生活支援事業」「家計相談支援事業」「学習支援事業」などがある。

それぞれの事業は、各自治体が実施主体となり、委託することも可能となっている。民間の福祉施設や医療施設などとも連携をとりながら、雇用についても可能な限り継続して支援していくことをめざす。

グリーンコープの生活再生相談事業は、2006年福岡市に開設した生活再生相談室からスタートし、現在5つの単協に広がっています。

2015年4月からスタートする国の「生活困窮者自立支援制度」の支援策「家計相談支援事業」に、グリーンコープの生活再生相談事業の構えや技術が盛り込まれることになりました。

新制度の全面実施に先立って、現在グリーンコープは厚生労働省の社会福祉推進事業として、全国で検討会や家計相談支援員の実践研修を行っています。検討会では、家計相談支援とは何か、その有効性を訴え、実践研修では、生活再生相談室の相談員が講師となり、相談室での経験をもとに、家計相談支援の技術や相談者への寄り添い方、家計管理の重要性について理解を広めていました。

生活再生相談事業に関する中で見えてきたことや、今回事業への思いなどについて、実践研修を担当する相談員に聞きました。

貸付だけでなく相談をセットで行うのは、グリーンコープの生活再生相談事業の大きな特長です。開所した頃は、家計相談がこれほど重要なことだとは思わず、どちらかと言えば貸付をして返済計画が立てられるかを判断するために必要なことだとして行っていました。しかし、さまざまな相談を受けていく中で、債務整理や貸付によって困境を立て直し、二度と困窮に陥らないようにするには、相談者自身が家計の状況を把握することが欠かせないと分かつてきました。

**相談者と信頼関係を築き 長期間伴走**

相談者自身が問題の背景や原因に気付き、解決する方法が見えても、強い意志をもつて継続していくことは難しいことです。

今回成立した生活困窮者自立支援法では、家計相談支援事業を実施するかどうかは各自治体の判断に任せられることになりました。しかし、貸付や就労支援によって生活を立て直しても、先を見通して家計を成り立たせていくことができなければ、ちょっとしたきっかけやアクシデントでまた困窮状態に戻ってしまいがちです。だからこそ、家計相談支援事業は生活

**一人でも多くの方の生活再建を願って**

グリーンコープ生活再生相談室  
相談員 丸山 恵子さん  
藤浦 久美さん

収入がどれくらいで、どんなことにいくら使っているのか、相談者に聞き取りながら、一緒に家計表を作っています。できあがった表を見て、多くの方が初めて自分の家計の現状を知り、驚きます。言葉だけでなく表や数値化することで、今抱えている課題が具体的になってしまいます。私たち相談員は、相談者本人の気付きを何よりも大切に考え、寄り添いながら相談をすすめます。

定期面談を通して長期間相談者に伴走していくこともあります。お金相談員は、相談者本人の家族問題は本人だけでなく家族関係まで踏み込まないと解決できないケースが多く、相談者との信頼関係がとても重要です。相談者が病気を抱えているなど、他の支援が必要な場合もあり、行政や病院など地域のネットワークとの協力も必要です。相談者が病気を抱えているなど、他の支援が必要な場合もあり、行政や病院など地域のネットワークとの協力も必要です。相談を受けている人はもちろん、家計相談支援は初めてという方も多いようです。どなたも受講する中でその重要性に気付かれています。



### 生活再生相談室の事業累計実績

(2006年開業時～2012年度)

電話件数	21,049件
面談件数	11,759件
貸付件数	1,829件
貸付金額	10億9,164万円
貸し倒れ率	1%未満

# 生活再生相談事業が、全国のモデルに

## グリーンコープの生活再生相談室をお気軽にご利用ください

相談 無料

家計相談支援は、多重債務をかかえたり生活に困窮している方だけを対象にしたものではありません。どなたでもささいなことで債務に陥ることはあります。大事に至らないうちに、ぜひお近くの生活再生相談室にご相談ください。

**家計相談**  
転職して給料が減り今後の家計が不安…

**借金問題の相談**  
返済が遅れて催促がきている…

**貸付の相談**  
子どもの進学費用が必要…

- ・生活再生相談室は、現在ふくおか、くまもと、おおいた、やまぐち、(長崎)で開設しています。
- ・生活再生相談室について、詳しくは各生協までお問い合わせください。

困窮者が真に自立するために欠かせないものだと実感しています。

各地で行っている家計相談員実践研修では、多くの自治体で家計相談支援に取り組んでほしいという思いで講師を務めています。受講者は社会福祉協議会や多重債務の相談窓口担当者など、行政の現場で実際に相談を受けている人はもちろん、家計相談支援は初めてという方も多いようです。どなたも受講する中でその重要性に気付かれています。

今後全国で多くの方が家計相談支援に携わることで、さまざまな実例をもとに研究がすすみ、ノウハウが蓄積され、より良いものになっていくことを期待しています。

グリーンコープ生協  
くまもと発

# 人吉地域にグリーンコープを! キープ&ショップ人吉 「手とテとて」がオープン



キープ&ショップ人吉はJR人吉駅から歩いて15分ほどの所にある。  
閉店していた小さなスーパーマーケットを借りて改装した



▲テープカットのようす。  
左から沖仲さん、川島さん、牧さん

▶交流会の様子。  
つき立てのお餅もふるまわれた



人吉市は熊本県の最も南に位置する、人口約3万5千人の市です。これまで、県内で唯一、グリーンコープ生協くまもとの配達やお店のない市でした。

2014年2月2日、人吉のお母さんたちの熱意が実り、地域の拠点としてのキープ&ショップ人吉「手とテとて」(以下、キープ&ショップ人吉)がオープンしました。オープンまでの経過や運営を担う組合員のグループ「手とテとて」の設立総会、開所式を報告します。

グリーンコープの商品が欲しい

「手とテとて」の代表となつた川島さんは、3年ほど前に東京から出産のために人吉に帰ってきた。程なく東日本大震災、東京電力福島第一原発の事故が起こる。放能汚染の不安から、出産後も人吉での生活を続けることにした。

子エルノブライの原発事故後から続けられてきたグリーンコープの残留放射能検査やその結果の公表などをネットなどで知っていましたから、その姿勢にとても共感していました。子どもたちのためにも是非商品が欲しかったんです」と川島さん。グリーンコープ生協くまもとに問い合わせると、賛同者が50人が欲しかったんですね」と川島さんは、「子どもが通う保育園のお母さんたちに相談した。



「手とテとて」の設立メンバー。左から代表の川島さん、副代表の郷さん、会計の松本さん

## 思いに溢れた設立総会 あたたかな開所式

### 地域の拠点をつくろう

志をもつて  
「手とテとて」の設立総会では、「食は命なり」と題された趣意書を川島さんが読み上げた。「生命の安全を脅かす食が溢れる中で、食の安全、安心を明確な形にしているグリーンコープ商品の利用を広めると同時に、人吉球磨地域の同じ思いをもつ人々の出会いの場として、この地域を盛り上げるお手伝いをしたいと思います」。キープ&ショップ人吉では商品の受け渡しや惣菜など販売を行う。他にも生産者との交流・試食会、学習会やお年寄りの話を

思いを寄せ合い  
「はじめは購入さえできればと思っていたんですけど、グリーンコープのみなさんと話し合う中で、少しずつ自分たち

聞く会などを計画している。3人の思いに溢れたスタートに、集まった地域の人や組合員から大きな拍手が贈られた。

地域からも歓迎されて  
開所式では、くまもとの理事長牧幸子さんが「自分の力でたくさんの組合員を集め、今日の日を迎えるメンバーや、共にここまで歩んでもられたみなさんに感謝の意を表します。この地にグリーンコープが広がり、地域の活性化にもつながることを願っています」と感慨深く話した。ここもかつてはいろんなお店が立ち並ぶ賑やかな町でしたのが、今では火が消えたようになってしまっています。お店ができる

理さんは「『手とテとて』のみなさんがいろんなことを乗り越えてくれました。何より作った私もグリーンコープの商品のおいしさに感動したんです。いろいろ30人もあった。産直の野菜や肉などを使つて試食用チリビーンズなどを作った松本さんは、「みんなおいしくて、喜んで食べてくれました。何よりも作つた私もグリーンコープの商品のおいしさに感動したんです。いろいろ

30人もあった。産直の野菜や肉などを使つて試食用チリビーンズなどを作った松本さんは、「みんなおいしくて、喜んで食べてくれました。何よりも作つた私もグリーンコープの商品のおいしさに感動したんです。いろいろ30人もあった。産直の野菜や肉などを使つて試食用チリビーンズなどを作った松本さんは、「みんなおいしくて、喜んで食べてくれました。何よりも作つた私もグリーンコープの商品のおいしさに感動したんです。いろいろ

のキープ&ショップのイメージが生まれてきました」。初めての経験に戸惑うことも多かった川島さんだつたが、くまもと力強い。1ヵ月半ほどで、約70人が集まつた。で、約70人が集まつた。地域の拠点をつくるにはグリーンコープの組合員だった郷さんたちは、「そのくらいすぐに集まるよ」と話す。松本さんは、「食料の工房をもつて『食は命』という考え方を実践してきた。

協議を重ねる中で、キープ&ショップ人吉に厨房をつくり調理食品を販売することや、人吉の生産者の野菜や福祉施設での組合員と話し合いをしてながら、キープ&ショップ人吉の設立に向けて歩みに届けた。その熱意と行動力に驚くと同時に感動したくまもとの理事会は、人吉球磨地域に新しいグリーンコープ生協をつくるとも言えるよう、独自性のある運営をするキープ&ショップの立ち上げを川島さんたちに相談した。

開所式では、くまもとの理事長牧幸子さんが「自分の力でたくさんの組合員を集め、今日の日を迎えるメンバーや、共にここまで歩んでもられたみなさんに感謝の意を表します。この地にグリーンコープが広がり、地域の活性化にもつながることを願っています」と町内会長の宮田さんが挨拶。地域からも期待されてのスタートとなつた。

# 歩みを築いていこう

## 震災三年後集会

きずなを大切にし



被災地からの報告をしたみなさん。左からアルカディアウェルの高橋朝弥さん、折浜・蛤浜の平塚国義さん、亀山さん夫婦、高橋徳治商店の高橋英雄さん、共生地域創造財団の臼井亜希子さん、石井優太さん、WATALISの橋元あゆみさん、引地恵さん、共生地域創造財団理事長の奥田知志さん

2014年3月11日、東日本大震災から3年を迎えたこの日、「東日本大震災三年後集会」が福岡市で開催されました。被災地への支援で出会い、絆を深めてきた皆さんをはじめ、組合員など268人が参加し、現在の様子や復興に向けた取り組みを共有しました。

一人ひとりが被災地で暮らす人たちに思いを馳せ、これからも人と人とのつながりを大切にしながら支援を継続していくと、参加者は皆心を一つにしました。

**私たちにできることを考え、行動し続ける！**

**被災地からの報告**

### 施設アルカディアウェル

#### せる地域づくりへの取り組み

介護長 高橋 朝弥さん

災害時には、施設は宮城県山元町の高台にあったため被災しませんでしたが、地区の介護施設のほとんどが被災したため、要介護者を多く受け入れました。被災したスタッフの退職も多くなり大変な状況になつた時、グリーンコーポの福祉ワーカーさんに支援していただきま

### 高橋徳治商店

#### 思いを分かちあう仲間として共に歩みたい

社長 高橋 英雄さん

災害で三つの工場が崩壊、一面の瓦礫を前に、事業を再開することは考えられない状況でした。グリーンコーポをはじめ多くの皆さんの励ましと支援で、2011年10月一本の製造ラインをやつと稼働させることができ、一旦解雇せざるを得なかつた従業員も少しずつ戻つきました。2013年7月、東松島市に本社工場を移転しました。現在從

年に高齢化がますます進み、構築が難しくなつてきているのが現状です。地域で支えあうためのコミュニティの再生をどのようにサポートしていくか。行政と一緒にになって考えておかなければなら

### 折浜・蛤浜

#### 互いに支援しあう関係を励みに

亀山 秀雄さん 亀山 昭子さん 平塚 国義さん

陸海岸にある小さな漁村ですが、震災で船も港も失いました。グリーンコーポには震災直後の緊急物資の支援に始まり、瓦礫撤去、牡蠣養殖資材の手配、牡蠣筏作り、種付け作業などを継続して支援していました。2012年12月には共同かんこで、「3年とい

ります。このように互いに支援の緊急支援を始めました。その後も刻々と変わった状況に合わせて、福祉施設への人的支援や農業・漁業等の産業復興支援など、その時々に必要な支援を、被災した人たちの心に寄り添いながら今も続けています。3年の月日は経ちましたが、未だ避難生活を強いられ、生活再建の目処を立たない人も多くいます。住宅や交通網の再建が遅れ若い世代が故郷を離れていく中、高齢者など社会的に弱い立場の人たちが孤立化しています。地域の中で支えあう関係がこわれ、さまざまな格差も生まれています。被災地の復興はまだ遠く、人々の心の傷は癒えない

グリーンコーポの復興応援商品として取り扱っていただ

きました。2013年2月からは宮城県などで路上生活をしていった方々を就労訓練生として受け入れ、出荷までの作業に取り組んでもらっています。このように互いに支援しあう関係が生まれてきました。支援の大切さを実感することができました。

2013年2月からは宮城県などで路上生活をしていった方々を就労訓練生として受け入れ、出荷までの作業に取り組んでもらっています。このように互いに支援しあう関係が生まれてきました。支援の大切さを実感することができました。

3年の流れは、被災地の皆さん的心の傷を少しずつでも癒してくれる時間で、その一方被災地以外では震災の記憶が風化していく時間でもあつたようですが、震災で心を大にしました。しかし私たちは忘れません。支援をとおして出会つた方々とのつながりを大切にしながら、共に未来を築いていくため一人ひとりができることがあります。しかし私はここに参加した皆さんから、できるところであきらめないで動き続けていきましょう」と呼びかけました。現地からは、震災で多くのものを失いながらも再び立ち上がり、新しい

楽しい時間を過ごすことができます。このように互いに支援しあう関係が生まれてきました。支援の大切さを実感することができました。



グリーンコーポの復興応援商品として取り扱っていただ

きました。2013年2月からは宮城県などで路上生活をしていった方々を就労訓練生として受け入れ、出荷までの作業に取り組んでもらっています。このように互いに支援しあう関係が生まれてきました。支援の大切さを実感することができました。

# これからも 被災地と共に未来へ



大震災が起きた午後2時46分には全員で黙とうを行い、震災で亡くなられた多くの方のご冥福をお祈りしました



奥田知志さん

一方で、彼らを支援しに多くの人々が人生の変更を迫られた。大切な人を亡くし、家や仕事を失つた。変わらざるを得なかつたのだ。

一方で、彼らを支援しようという私たちも変わつただろうか。何も変わらないまま、支援などできなかつたのだ。

現地では3月11日を境に多くの人々が人生の変更を迫られた。大切な人を亡くし、家や仕事を失つた。変わらざるを得なかつたのだ。

私は変わったか

被災者「痛み」と、ホームレスの「痛み」に共通するものを見た。「痛み」には、原因がはつきりしている急性的の痛みと原因不明の慢性的の痛みがある。慢性的の痛みは、過去の記憶からくると言われており、共感され、物語られることによって緩和される。

ホームレス当事者の話を聞く。「わかります。つらかったですね」というと「話してよかったです」と乐になつた」と応答される方がいる。共感的ケアである。けれども「わかります」と相づちを打つた途端に吐き捨てその場を去る人がいる。安易な「わかれます」が相手の尊厳を傷つける。共感できない現実、いや、安易に共感してはいけない現実がある。そんな時は「あなたの気持ちはわからない」とだけ伝える。コミュニケーションし、共感できない事実を共有する。「絆」という言葉で

時間が来る。組合員からの支援物資にあつた手紙の言葉だ。笑える時は来たか、今日私たちは、検証したい。

## 東日本大震災から3年。被災地・蛤浜で最初に出会った亀山さん夫妻が大事にされたときの言葉がある。「生きていればきっと笑える時が来る」。

組合員から支えられた手紙の言葉だ。笑える時は来れたか、今日私たちは、検証したい。

## これからの未来を共につくる

共生地域創造財団 理事長 奥田 知志 さん

生きるのか。何も変わらないのなら、私は本当に直さが必要なのだと思う。

震災から3年。被災地・蛤浜で最初に出会った亀山さん夫妻が大事にされたときの言葉がある。「生きていればきっと笑える時が来る」。

## 安心して暮らす社会の実現を目指す

この取り組みは、震災から3年が経過しましたが、大船渡市にある1800戸の仮設住宅は、現在も約90%の入居率で、まだ多くの方が仮の住まいでの生活を強いられています。また、地域の若者は仕事を求めて地元を離れ、残った高齢者などの孤立化が進んでいます。被災者の孤立を防ぐためにも見守りや適切なサポートができるようつなぐ支援がさらに重要なつなづけています。

震災から3年が経過しましたが、大船渡市にある1800戸の仮設住宅は、現在も約90%の入居率で、まだ多くの方が仮の住まいでの生活を強いられています。また、地域の若者は仕事を求めて地元を離れ、残った高齢者などの孤立化が進んでいます。被災者の孤立を防ぐためにも見守りや適切なサポートができるようつなぐ支援がさらに重要なつなづけています。

震災から3年が経過しましたが、大船渡市にある1800戸の仮設住宅は、現在も約90%の入居率で、まだ多くの方が仮の住まいでの生活を強いられています。また、地域の若者は仕事を求めて地元を離れ、残った高齢者などの孤立化が進んでいます。被災者の孤立を防ぐためにも見守りや適切なサポートができるようつなぐ支援がさらに重要なつなづけています。

## 共生地域創造財団 岩手大船渡事務所

### 在宅被災者の孤立を防ぐために これからも見守り続けます

スタッフ 石井 優太さん 被災地雇用スタッフ 白井 亜希子さん

震災から3年が経過しましたが、大船渡市にある1800戸の仮設住宅は、現在も約90%の入居率で、まだ多くの方が仮の住まいでの生活を強いられています。また、地域の若者は仕事を求めて地元を離れ、残った高齢者などの孤立化が進んでいます。被災者の孤立を防ぐためにも見守りや適切なサポートができるようつなぐ支援がさらに重要なつなづけています。

震災から3年が経過しましたが、大船渡市にある1800戸の仮設住宅は、現在も約90%の入居率で、まだ多くの方が仮の住まいでの生活を強いられています。また、地域の若者は仕事を求めて地元を離れ、残った高齢者などの孤立化が進んでいます。被災者の孤立を防ぐためにも見守りや適切なサポートができるようつなぐ支援がさらに重要なつなづけています。

## 一般社団法人 WATALIS

### 女性たちの働く場づくり

引地 恵さん 橋元 あゆみさん

震災から3年が経過しましたが、大船渡市にある1800戸の仮設住宅は、現在も約90%の入居率で、まだ多くの方が仮の住まいでの生活を強いられています。また、地域の若者は仕事を求めて地元を離れ、残った高齢者などの孤立化が進んでいます。被災者の孤立を防ぐためにも見守りや適切なサポートができるようつなぐ支援がさらに重要なつなづけています。



FUGURO

## 介護老人保健施設

安心して暮らす社会の実現を目指す

震災から3年が経過しましたが、大船渡市にある1800戸の仮設住宅は、現在も約90%の入居率で、まだ多くの方が仮の住まいでの生活を強いられています。また、地域の若者は仕事を求めて地元を離れ、残った高齢者などの孤立化が進んでいます。被災者の孤立を防ぐためにも見守りや適切なサポートができるようつなぐ支援がさらに重要なつなづけています。

震災から3年が経過しましたが、大船渡市にある1800戸の仮設住宅は、現在も約90%の入居率で、まだ多くの方が仮の住まいでの生活を強いられています。また、地域の若者は仕事を求めて地元を離れ、残った高齢者などの孤立化が進んでいます。被災者の孤立を防ぐためにも見守りや適切なサポートができるようつなぐ支援がさらに重要なつなづけています。

## チエルノブイリ原発事故の被災国ベラルーシ共和国の医師による来日報告会



チエルノブイリ医療支援ネットワークの関係者を囲む、共同体理事会メンバー。前列左から3人目がウラジミール・シヴダさん。4人目がアルツール・グリゴロビッチさん

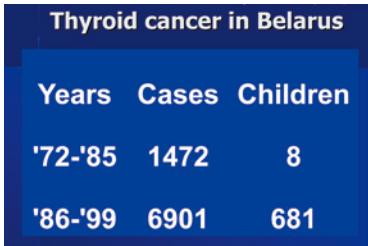
**ウラジミール・シヴダ医師**  
プレスト州立内分泌診療所スタッフ。赤十字移動検診団团长。内科医、超音波診断専門医

**アルツール・グリゴロビッチ医師**  
プレスト州立内分泌診療所所長。内分泌科専門医

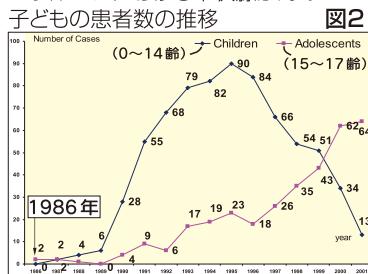
2014年3月5日、共同体理事会メンバーを対象に「ベラルーシにおける甲状腺がんの早期発見・治療方法を、いかにして福島へ生かすか」をテーマに甲状腺がんの診療に携わってきた2人の医師による報告会を開催しました。

冒頭2人からは、NPO法人チエルノブイリ医療支援ネットワークを通じて、グリーンコープ組合員など日本からの支援金への感謝が述べられました。そして、チエルノブイリ原発事故から28年経過した現在でも続いている影響についての報告とともに、日本からの支援で培ってきた医療技術や経験を東京電力福島第一原子力発電所の事故による被曝者への支援にどのように生かせるかの観点で話がありました。

事故の前後、ベラルーシにおける甲状腺がんの患者数の変化 図1



ベラルーシにおける甲状腺がんの子どもの患者数の推移 図2



普段から摂取する食品からのヨウ素を吸収しやすい状況にありました。事故直後から大量に空気中に拡散した放射性ヨウ素をたくさん吸収して、甲状腺により大きな影響を与えた。しかし、この辺りはヨウ素が不足しているため、甲状腺が肥大し、結果的にアセスメントが見られます。放射性ヨウ素の影響は被曝した年齢が低いほど大きく、甲状腺がんのリスクが最も高かつた当時0~5歳児が現在、20代後半から30代になると、ベラルーシの中でも

私たちが医療活動を行っているベラルーシ共和国は、東側にロシア、西側にポーランドが隣接しています。事故当時はソ連でした。1986年4月26日にウクライナ(当時ソ連)でチエルノブイリ原発事故は起きました。当時のソ連は情報公開するような体制ではありませんでした。多くの人々が放射能に晒されてしましました。

(図1)を見ると、年齢を問わず全体的に5倍近くになっています。小児期(0~14歳)は特に顕著な違いがあり、100倍近く増えていました。さらに詳しく(図2)見ると、事故の4年後から小児甲状腺がんが明らかに増え、1995年~96年にかけてがピークでした。10代については、その後も増え続けており、事故当時幼なくして被曝したためだとと思われます。放射性ヨウ素の影響は被曝した年齢が低いほど大きく、甲状腺がんのリスクが最も高い状況にあります。

原発事故の対応にあたっていた労働者の被曝の実態も明らかになりました。甲状腺がん以外にも、肺がんや膀胱がん、皮膚がんなどの悪性腫瘍が他の子どもたちの中で甲状腺がん、がんに進みやすいしきり(結節)、乳癌がん発症率の上昇が懸念

0~5歳だった子どもや1ミリシーベルト以上の被曝が高リスク

**甲状腺がんの他にも**  
**がんが増加している傾向**

これまで28年間にプレスト州で甲状腺がんになってしまった人は3,237例。女性の罹患率が高いのも特徴です。幸いなことに甲状腺がんは再発や転移による乳がんが増えたように、最近乳がんも増えています。

97年に、日本の皆さんのがんパで移動検診車を送っていました。そこにエコーなどの必要な機材を積んでブレスト州内の各地域へ検診に行きます。こうした移動検診には内科医だけでなく、内分泌や小児科の専門医も同行します。エコーでしこりや囊胞があるかどうかなどを検査し、

患者数と割合の変化(1986~2013) 図3

これまで28年間にプレスト州で甲状腺がんになってしまった人は3,237例。女性の罹患率が高いのも特徴です。幸いなことに甲状腺がんは再発や転移による乳がんが増えたように、最近乳がんも増えています。

チエルノブイリ事故の年に生まれて、11歳の時に移動検診でしこりが見つかり手術した事例があります。現在28歳のその青年は、手術後専門学校で学び、家庭を持つて元気に暮らしています。甲状腺がんは早期発見・早期治療が何よりも大切です。

## 予防のために大切なことは

## 検診による早期発見

事故から11年後の1997年に、日本の皆さんのがんパで移動検診車を送っていました。そこにエコーなどの必要な機材を積んでブレスト州内の各地域へ検診に行きます。こうした移動検診には内科医だけでなく、内分泌や小児科の専門医も同行します。エコーでしこりや囊胞があるかどうかなどを検査し、

人が移動検診を受けました。うち22.8%が甲状腺にしこりがあり、16%

が甲状腺に炎症があります。結果、6,262人に甲状腺がんを早期発見されました。うち22.8%が甲状腺にしこりがあり、16%

が甲状腺に炎症があります。実際に福島からの視察もありました。私たちも福島の医療関係者と一緒に福島の医療関係者と一緒に協議の場を持つています。甲状腺がんの対策には、原発事故発生時における安定ヨウ素剤の配布、早期発見・早期治療が何よりも大切な

です。医療機関が遠くまで、性能がよい日本製の機器を使っています。日本の支援で甲状腺の手術の技法なども、直接日本の医師から学び、ノウハウを蓄積することによって、月のうち、3週間は移動検診、残りの1週間は診療所で活動しています。

スト州では、2004

13年に143,475

人が移動検診を受けました。

これまで28年間に



No.68

## 原発のない社会は誰がつくる?

東日本大震災で起きた原発事故を経験してから、「安心して安全に使えるエネルギーを地域のみんなの手でつくりあげたい」という思いで、各地でプロジェクトを立ち上げている人たちがたくさんいます。原発事故後、原発をどうするのか、日本のエネルギーをどうするのかと考えている人は少なくないはずです。そこで、「電気は誰かがつくって運んでくれるもの」という考え方を取り払つて、「電気は自分たちでつくるもの」という考え方へ変えてみることからはじめてみませんか。

実際に日本の各地で市民による自然エネルギー事業が始まっています。原子力を頼らない発電所をつくり、その電力を用いてごく普通に生活を営んでいる例があります。それは夢ではなく実現可能なことです。

グリーンコープでも福岡県糸島市神在に第1号の太陽光発電所を建設し、2013年9月から売電を開始しました。また、それぞれの地域でも次の市民発電所建設の検討がはじまっています。私たちの発電所づくりのために組合員の皆さんに「グリーン電力出資金」への協力を呼びかけています。「自分たちの使う電気は自分たちでつくる!」。子どもたちの未来のために、市民の力を結集させていきましょう。

参考文献: コミュニティ発電所 原発なくてもいいかもよ? 古屋将太著 ポプラ社

グリーンコープ共同体組織委員会

# 笑顔の花を咲かせたい



近藤さんが活動をはじめた背景は、2000年前後に神戸、大阪で連続して子どもが犠牲になる悲惨な事件が起つたことにある。その後、学校の門は閉じられ、親でさえ保護者の証明証がないと学校に入れなくなつた。長男が通う保育園では、園児たちが楽しみにしていた泊り保育もなくなつた。知らない人を

## 子育てを軸にした 地域づくり

近藤さんは人懐っこい笑顔で言葉をかける。

NPO法人 こそだち応援あそびっこ

代表 近藤 真理子さん

### ●プロフィール

大阪府堺市在住。夫と長男(高2)、長女(小4)、二女(小1)、母の6人家族。グリーンコープ生協おおさか組合員。グリーンコープが取り組んでいる「放射能汚染調査活動」に必要な土の検体採取にも協力している



あそびっこ活動メンバー

堺市総合福祉会館の一室に、子育て真っ最中のお母さんを中心に10人が集まつた。今日の学習会のテーマは「親子、お姑

お母さんを中心とした活動を立ち上げた。ほどなくして「人がたくさん集まる大きな歌あり、あそびありの参加型コンサートを思い立つ。チラシを作り、友人や大学の後輩、子どもの保育園の保護者会など、自分の周りの人たちの力を借りて、育児サークルや小学校、イベント会場で声をかけて回った。インターネットのサイト等でも告知をし、後に一緒に活動する仲間たちにも出会う。親子で参加費400円のコンサートだったが、450人が会場を埋めた。「やっぱりみ

近藤さんは3人の子のお母さんであり、「あそびっこ」の活動と大学や単位制の高校の非常勤講師、また、不登校の子どもたちの家庭教師や、その他個別に必要なケアや支援を行つていて。「あなたがおるだけでいいよ」と言ってくれる夫、活動に参加する子どもたちと、支えてくれる家族の存在は大きい。

近藤さんは、2013年12月に、阿倍野区民センターの舞台を借りて、「コサンタプロジェクト」と題しワークショップ(全4回)を開催した。本格的な舞台装置や照明を使って、子どもたちが自分の気持ちや感謝の思いをダンスや劇、手紙などで表現した。2013年度阿倍野区民センターの指定管理者で、大阪を中心に活躍している劇団「KIO」の中立公平さんの協力があった。「子どもは自分を表現できる最高のパフォーマー」と考える中立さんは、近藤さんの活動に共感する。



2013年12月に、阿倍野区民センターの舞台を借りて、「コサンタプロジェクト」と題しワークショップ(全4回)を開催した。本格的な舞台装置や照明

を使って、子どもたちが自分の気持ちや感謝の思いをダンスや劇、手紙などで表現した。2013年度阿倍野区民センターの指定管理者で、大阪を中心に活躍している劇団「KIO」の中立公平さんの協力があった。「子どもは自分を表現できる最高のパフォーマー」と考える中立さんは、近藤さんの活動に共感する。



グリーンコープ生協くまもと  
副理事長

高濱 千夏

娘の通っている保育園では、「レストランごっこ」という人気行事がある。

園児がシェフとなり、保護者をもてなしてくれるのだ。「いらっしゃいませ～!!」と大声で出迎えてくれる子ども達の顔は誇らしげで、自分が作った料理をたくさん食べて!!と目をキラキラさせている。娘はカレー屋さん。すました顔で、私にカレーをついでくれた。子ども達への食育について学ぶ機会も多いが、体に良い食べものを選ぶ姿勢だけでなく、料理を楽しめる人に育ってほしい。

レストランごっこには人に食べさせる喜びを知る、大切な食の学びが詰まっている。梅干し、味噌、豆腐と手作りし、味噌汁の野菜を子ども達が包丁で切る。食べる事は生きる事。それを幼児期から実践させてもらえる園に感謝だ。

活動の根幹にあるのは、どうしたらお母さんたちが笑顔で社会参加ができるかということ。お母さんが笑顔になつたら、子どもたちも笑顔がいっぱいになれると考え

※子どもたちとキャンプ生活と共に、野外活動や自然体験などの学習を通して、カウンセリング、サポートを行う

住む人の顔の見える街、街の人も育つていく場をつくりたい

共に子育てという土俵に立ち、育ちあい、育てたい。地域に住む誰もが年寄りから昔ながらの知識や経験を語りながら、地域の子どもやお母さんが、お母さんとの出会いの中で培つたことが、様々な悩みを抱えるお母さんたちを勇気づける。

娘、長男の妊娠を機に退職した。生徒が楽しいと思える学校をつくりたい

た。そして学ぶことの本質について考えたいと思つたが数年前に活動メンバーと一緒に前へ走つて、その子たちが二十歳になつたら地域の人たちみんなでお祝いをして、その子たちが二

十歳になつたら地域の人たちみんなでお祝いをして、その子たちが二

十歳になつたら地域の人たちみんなでお祝いをして、その子たちが二

十歳になつたら地域の人たちみんなでお祝いをして、その子たちが二

十歳になつたら地域の人たちみんなでお祝いをして、その子たちが二

十歳になつたら地域の人たちみんなでお祝いをして、その子たちが二

十歳になつたら地域の人たちみんなでお祝いをして、その子たちが二

**学ぶ楽しさ、  
教える責任とはなにか**

たからだ。かつては子育てについて相談する側だ

たが数年前に活動メンバーより、一緒に前へ走つて、その子たちが二十歳になつたら地域の人たちみんなでお祝いをして、その子たちが二



\*コンタミもない

もちろん  
化学調味料は  
使わない「乳」アレルゲンが  
なくなつた

だし

価格が下がった  
風味を増した

# 国産原料にこだわつて さらにおいしくして

**ぬいりこだし**国産いりこを20%配合  
焙焼したいりこを  
丸ごと使用。  
いりこ風味豊か!**ぬかつおだし**かつお節粉末・そうだ節  
粉末・かつおエキスを合  
わせて約16%配合。  
かつお風味がアップ!**ぬ中華だし**チキンエキス、ポーク  
エキスに野菜エキスを  
配合し旨味をプラス。  
国産しょうがで味に  
アクセント原料昆布は  
旨味成分の多い  
北海道産真昆布粉末を  
15%配合

だしは毎日の料理に欠かせません。でも、昆布やかつお節でだしを取るのはやはりなかなか大変。そんな時の強い味方がグリーンコープの顆粒だし。今年3月から、原料のかつお節やいりこ、昆布の粉末の配合を増やし、風味や香りをアップして生まれ変わりました。

## おいしいしさがアップ しただし

かつおだし、いりこだし、こんぶだしは、これまで親しまれていた商品のだしの味をベースにし、中華だしは新たな商品として開発に取り組んだ。かつおだしの原料となるかつお節は、中部太平洋やインド洋で漁獲し日本で水揚げされたかつおが原料。日本近海で獲れるかつおより脂が少なく、加工に適している。それが風味のよいかつお節に、そうだ節を加え、かつおだしの味を調えた。さらに、昆布を加えることで、旨味成分のイノシン酸（かつお）とグルタミン酸（昆布）の相乗効果で旨味がアップした。いりこだしの原料となるいりこは、酸化防止剤を使っていない。いりこがと粉末にするため、いりこ本来の味と香りがする。こんぶだしの原料には旨味成分の多い北海道産真昆布粉末を15%配合した。

中華だしの原料は国内産のチキンエキス、ポークエキスに自家製造した野菜エキスを加えた。野菜（玉ねぎ、白菜、キャベツ、人参、セロリ、にんにく）で、その旨味を

### メーカーからのミニ知識

- だしを沸騰した湯に入れると、だし素材の粉末が泡と共に吹き上がり、鍋の周りにこびりついてしまう。だしは沸騰する前から一旦火を止めてから入れるときれいに溶ける。
- 汁物の場合、最初に下味として使用量の半分を入れ、仕上げに後の半分を入れると香りが残り、よりおいしくなる。

### 化学調味料不使用 のだし作りに取り組んだマルトモ

#### 乳糖を使わない 造粒装置

乳アレルギーの心配がない  
引き出した。

これまでのだしは顆粒を作るために乳糖を使っていたため、「乳」のアレルギーがあった。リニューアルしただしは、乳糖を使わないため、乳アレルギーの人も利用できるようになった。製造の度に槽ごと取り替えるのでコンタミの心配もない。そのため、かつおだし、いりこだし、こんぶだしにはいずれのアレルギーも含まない。中華だしは原料の鶏と豚のアレルゲンのみ。



だし製造工場のみなさん。後列左から2番目が塩谷さん。5番目が竹田さん

「食品業界ではいち早く味覚センサーを導入しました。素材のコク味や苦味を測定し数値化して、科学的な根拠に基づいた商品作りをしていました。コンセプトは「健康と食文化の発展に貢献できる総合食品メーカー」。

「食品業界ではいち早く味覚センサーを導入しました。素材のコク味や苦味を測定し数値化して、科学的な根拠に基づいた商品作りをしていました。コンセプトは「健康と食文化の発展に貢献できる総合食品メーカー」。

マルトモ（株）は1918年愛媛県伊予市で、瀬戸内海で獲れる海産物の煮干しを取り扱う会社として創業。現在はかつお削り節を主力商品としており、削り節では日本の20%のシェアを占める。

マルトモ（株）は1918年愛媛県伊予市で、瀬戸内海で獲れる海産物の煮干しを取り扱う会社として創業。現在はかつお削り節を主力商品としており、削り節では日本の20%のシェアを占める。

### 2014年2月の組合員数 376237人 (2/20現在)

#### リユース、リサイクルデータ 2014年1月分 (回収率)

トレー 回収率 62.7%	牛乳びん 回収率 101.4%
モウルドパック 回収率 126.3%	リユースびん 回収率 85.3%

☆仕分け袋の回収率は11.6%  
日本では数少ない袋から袋へのリサイクルです。



ラベルを切り取り、ゴミや汚れを落として出してください。

神在太陽光発電所売電量  
2014年2月 70,140kWh  
2013年9月からの累計は495,030kWh

フードマイレージ  
2009年9月から2014年2月までに組合員の利用によってたまつたのは

298,040,721.0  
POCO

CO<sub>2</sub>に換算して29,804tを削減したことになります

アジア民衆基金  
2009年4月から2014年2月までに組合員の利用によってたまつたのは

34,944,987円

※同じ製造装置で作っているため、混じる可能性のある微量物質。グリーンコープではコントラクトアレルギー表示をしている







